

これまでに決定した
都市再生プロジェクト
の主要な進捗状況

これまでに決定した都市再生プロジェクト

1. 第一次決定（H13年6月）

- (1) 東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備
- (2) 大都市圏におけるゴミゼロ型都市への再構築
- (3) 中央官庁施設のPFIによる整備

2. 第二次決定（H13年8月）

- (1) 大都市圏における国際交流・物流機能の強化
- (2) 大都市圏における環状道路体系の整備
- (3) 大阪圏におけるライフサイエンスの国際拠点形成
- (4) 都市部における保育所待機児童の解消
- (5) PFI手法の一層の展開

3. 第三次決定（H13年12月）

- (1) 密集市街地の緊急整備
- (2) 都市における既存ストックの活用
- (3) 大都市圏における都市環境インフラの再生

4. 第四次決定（H14年7月）

- (1) 東京圏におけるゲノム科学の国際拠点形成
- (2) 北部九州圏におけるアジア産業交流拠点の形成
- (3) 地方中枢都市における先進的で個性ある都市づくり

東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備 (平成13年6月 都市再生プロジェクト第一次決定)

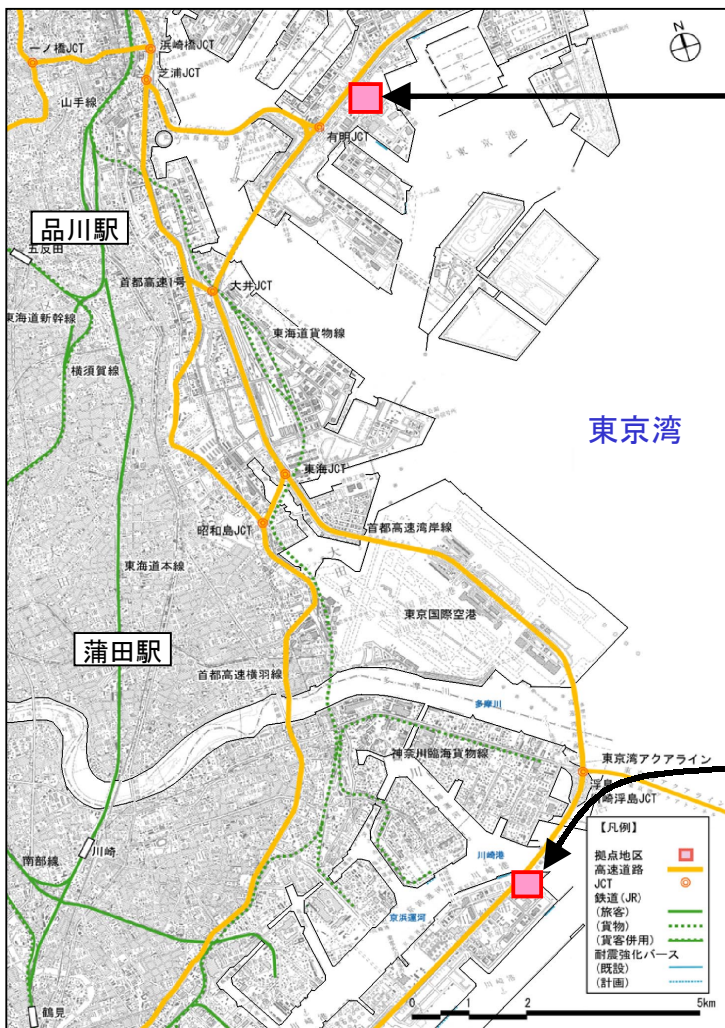
平成13年7月に、国と7都県市からなる「首都圏広域防災拠点整備協議会」(以下「協議会」という。)を設置

平成14年7月、第5回協議会において、具体的な整備箇所及び整備手法等を内容とする基幹的広域防災拠点整備計画骨子を決定

有明の丘地区及び東扇島地区の2箇所、総面積約29ヘクタールにおいて、それぞれ国営公園事業及び直轄港湾整備事業等により基幹的広域防災拠点の整備に着手

- ・平成14年度補正予算：用地権原の確保に要する経費を計上
- ・平成15年度予算案：本部施設を含む基本設計等の経費を計上

基幹的広域防災拠点整備位置図



有明の丘地区(約13.2ha)

【首都圏広域防災のヘッドクォーター】

- ・合同現地対策本部の設置
- ・コア部隊のベースキャンプ
- ・緊急輸送物資の一次中継
- ・災害時医療の支援
- ・災害ボランティア等への支援 等

東扇島地区(約15.8ha)

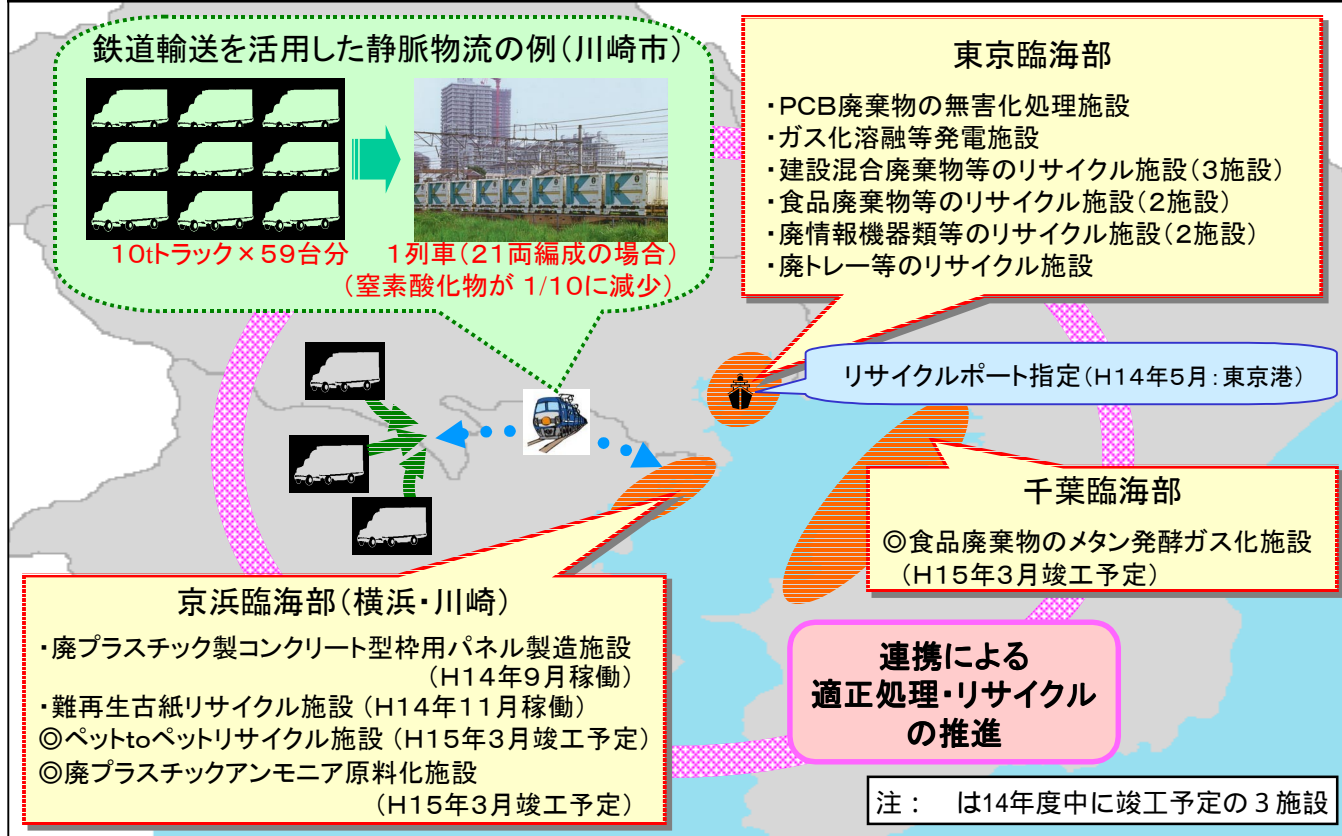
【海外をはじめとした物流コントロールセンター】

- ・海上輸送等の中継基地
- ・広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ 等

大都市圏におけるゴミゼロ型都市への再構築 (平成13年6月 都市再生プロジェクト第一次決定)

- 平成13年7月に、国と七都県市から構成する「首都圏ゴミゼロ型都市推進協議会」を設置
- 平成14年4月に最終報告を取りまとめ(産業廃棄物の最終処分量を国の方針を5年前倒して、平成17年度に半減とする、等)
以下の事業を推進中
- 京浜・千葉臨海部において、民間事業者による廃プラスチック・食品廃棄物等の高度リサイクル施設の整備が進展(平成14年度中に新たに3施設が竣工予定)
さらに、東京臨海部においても、建設廃棄物のリサイクルなど9施設の整備に着手
- 平成14年11月に、国と東京都との連携により、環境事業団によるPCB廃棄物の無害化処理施設の整備に着手
(高圧トランス・コンデンサ等、約6.5万台(1都3県分)の無害化処理を平成27年までに完了予定)
- 平成15年1月に、京浜臨海部において、鉄道輸送を活用し、環境・交通負荷の小さい静脈物流体系の構築に向けた実証実験を実施

⋮



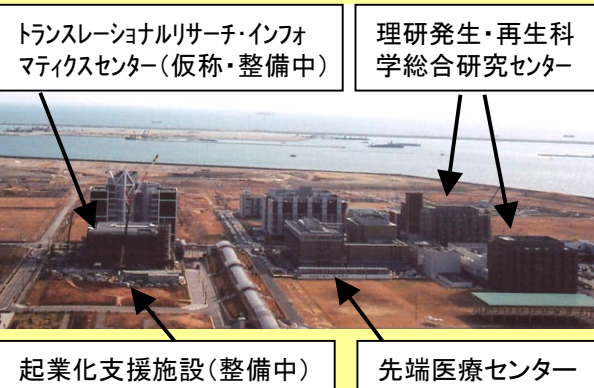
大阪圏におけるライフサイエンスの国際拠点形成 (平成13年8月 都市再生プロジェクト第二次決定)

- 平成13年8月に、関西バイオ推進会議が発足
(地元産学官のトップによる連携体制の構築)
- 平成13年11月に、大阪圏ライフサイエンス推進協議会を設置
(国の関係8府省、地元9地方公共団体、地元2経済団体による協議機関)
- 平成14年6月に、推進会議が基本構想を策定し、協議会に報告
(国と地元が一体となって、プロジェクトを推進することを確認)
- 研究開発の推進、起業化支援施設の整備等に対する予算の重点投入
(平成13年度補正予算・平成14年度当初予算で、350億円を超える予算を大阪圏に配分)

神戸地域での拠点形成

再生医療等先端医療の研究と起業化

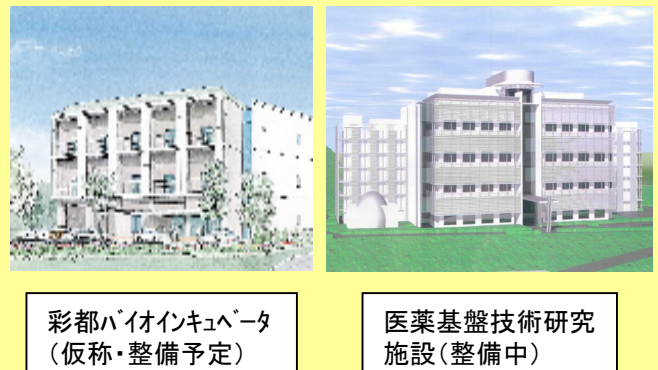
- ・先端医療のための臨床研究情報拠点の整備
(平成15年開設予定)
- ・起業化支援施設の整備(平成15年開設予定)
- ・先端医療実現のための基礎から臨床への橋渡し研究
(知的クラスター創成事業)



大阪北部地域での拠点形成

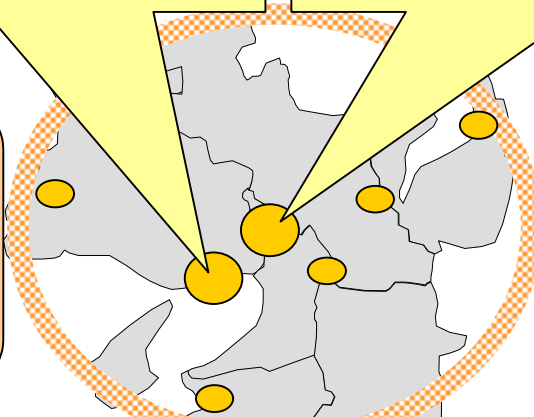
医薬品の研究と創薬産業育成

- ・彩都ライフサイエンスパークの整備
(医薬基盤技術研究施設・起業化支援施設)
(平成16年度開設予定)
- ・がん、心臓病、脳卒中等制圧のための創薬技術研究
(知的クラスター創成事業)



ライフサイエンス関連企業の集中立地

(例) 神戸医療産業都市への進出状況
平成13年8月: 7社
↓
平成15年1月: 30社



大学発ベンチャーの創出

(例) 平成14年9月、東証マザーズに創薬ベンチャーが上場(全国初)

関西圏ライフサイエンスの国際拠点形成基本構想

関西経済全体への波及効果が見込める「創薬」及び「再生医療」を重点分野とし、バイオインフォマティクス等の関連分野を含め、共同研究の実施等により各拠点間の連携を図りつつ、基礎研究から産業化まで一貫して支援する体制を整備する。